

施策・主な取組シート

基本方向	(3) まちを支える人づくり	基本政策	2) スポーツ・レクリエーションの振興	
(1) 施策				
名称	15 スポーツ・レクリエーションの振興			
目標	市民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツ活動に参画できる環境づくりを推進し、ライフステージに応じた元気でいきいきと暮らすことができる活力あるまちの実現をめざします。			
現状と課題	子どもの運動能力の低下や若い世代のスポーツ離れ、高齢者の介護予防や健康増進など、運動やスポーツを取り巻く環境が大きく変化していることから、ライフスタイルや各世代に対応した健康体力づくりの事業展開が求められています。 また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、市内スポーツ競技団体の活性化や事前キャンプ地誘致にも寄与するスポーツ施設の整備が課題となっています。			
課題解決の方向性	市民の日常的な運動やスポーツ意識を高めるとともに、市内外の地域間交流を促進し、活力あるまちづくりを推進するため、各種スポーツ大会を開催します。 また、スポーツ団体等と連携し、各種スポーツイベントや競技大会を誘致するとともに、スポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの推進を図ります。 さらに、市民が安全で快適にスポーツを楽しむ環境を整えるため、適切な施設の管理運営に努めるとともに、小・中学校の体育施設のさらなる有効活用を図ります。			
(2) 主な取組				
No.1	名称	スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	担当課	スポーツ振興課		
	概要	・市民が日常的に運動やスポーツに気軽に親しめるように、各種教室やイベントなどを開催し、運動の習慣化を図ります。 ・競技力の向上を図るため、スポーツ団体などと連携し、競技スポーツ指導者の養成や選手強化の支援に努めるとともに、全国大会や国際大会に出場する個人・団体に対して奨励金を交付します。 ・「ちばアクアラインマラソン」や「木更津トライアスロン大会」など、関係団体と協力した大規模スポーツイベントの開催を通じ、スポーツの振興を図るとともに、本市の魅力を広く発信することで、スポーツを活かしたまちづくりを推進します。		
No.2	名称	スポーツ・レクリエーション施設の整備		
	担当課	スポーツ振興課		
	概要	・市民が安全で快適にスポーツを楽しむ環境を提供するため、民間活力による施設の適正な維持管理等を行います。 ・江川総合運動場北西側を拡張し、陸上競技場や野球場等の計画的な整備を行い、スポーツ施設の充実を図ります。 ・小・中学校の体育館や運動場など、既存施設の効果的な活用を図り、市民が気軽にスポーツに親しめる環境整備に努めます。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	市民（20歳以上）の週1回以上のスポーツ実施率	45% (平成29年度)	65%	国の第2期スポーツ基本計画におけるスポーツ実施率（週1）の目標値にあわせ、65%を目標とします。
	市営スポーツ施設の利用者数	371,146人 (平成28年度)	427,000人	木更津市スポーツ推進計画策定時の答申を受け、平成26年度以降の実績値を参考に、現状値から約15%増加となる427,000人を目標とします。